北九州市・福岡市と同日提供

令和８年９月３０日



レッドリボンは、ＨＩＶ感染者・エイズ患者への理解と支援の象徴です。

がん感染症疾病対策課
直　通：092-643-3597
内　線：３０６４
担　当：中尾

令和８年上半期（１月～６月）の福岡県内ＨＩＶ感染者・エイズ患者報告数等の情報を公表します

（令和８年９月３０日現在、速報値）

福岡県では、エイズ予防対策の一環として、県内（北九州市・福岡市・久留米市を含む）のＨＩＶ感染者・エイズ患者報告数等の情報を年２回公表しています。

この度、令和８年上半期（１月～６月）の福岡県内ＨＩＶ感染者・エイズ患者報告数等の情報を以下のとおり公表します。

●令和８年上半期（１月～６月）の報告数

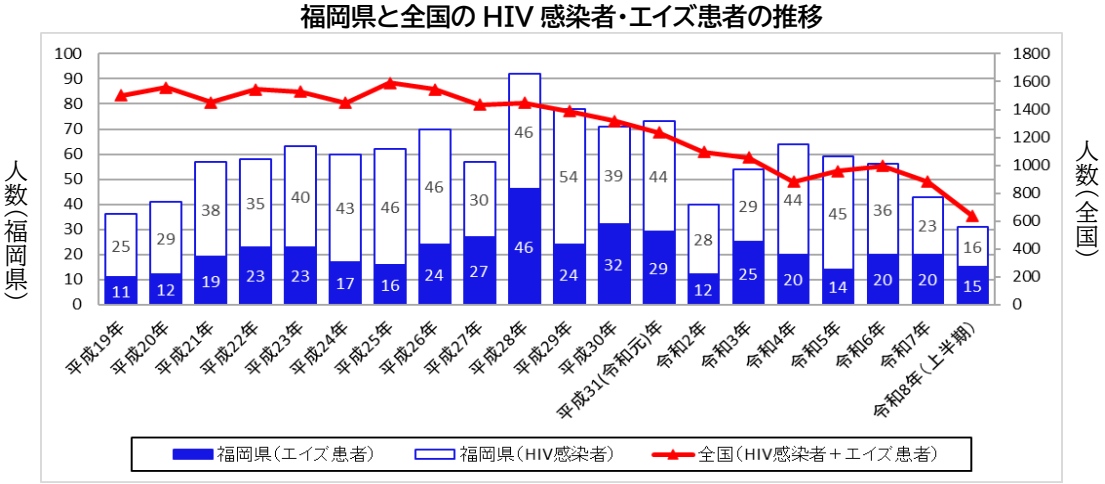
（１）ＨＩＶ感染者は１６名、エイズ患者は１５名でした。昨年の同期間と比べ、ＨＩＶ感染者数は８名、エイズ患者数は４名の増加となりました。

（２）年代別でみると、ＨＩＶ感染者は２０～４０代に多く、エイズ患者は３０代以上の報告が多い傾向にあります。

（３）性別でみると、男性の報告は２９名、女性の報告は２名です。

（４）推定感染経路は、同性間性的接触が最も多く２０名で、全体の約６５％を占めています。

福岡県と全国の HIV 感染者･エイズ患者の推移



●ＨＩＶ感染症・エイズの治療は飛躍的に進歩しています

ＨＩＶは感染力が弱く、性行為以外の日常生活でうつることはほとんどありません。

また、感染しても、早期に発見し適切な治療を継続すれば、エイズの発症を防いだり、遅らせたりすることができ、感染前と変わらない日常生活を送ることができます。

●早期発見が大事！ＨＩＶ抗体検査を受けましょう！

ＨＩＶは感染すると発熱などの症状がみられることもありますが、数週間で消失し、その後、無症候期に入ります。無症候期は数年～１０年以上続く人もいますが、感染後、短期間のうちにエイズを発症する人もいます。感染に早期に気付くためには、ＨＩＶ抗体検査を受けることが重要です。

県内の保健所では、無料・匿名でエイズ相談とＨＩＶ抗体検査を実施しています。詳細は県ＨＰ（右記二次元コード）をご確認ください。

県ＨＰ



エイズは、STD（性感染症）のひとつで、誰でも感染する可能性がある病気です。
HIVに感染しただけではほとんど症状がないため、気付かず過ごしているかもしれません。
感染の不安がある方は、早めに検査に行きましょう。

